

# 四半期報告書

(第47期第2四半期)

自 平成22年7月1日  
至 平成22年9月30日

株式  
会社 **本じかん**

広島市西区商工センター七丁目3番9号

# 目 次

	頁
表紙 .....	1
第一部 企業情報 .....	2
第1 企業の概況 .....	2
1 主要な経営指標等の推移 .....	2
2 事業の内容 .....	3
3 関係会社の状況 .....	3
4 従業員の状況 .....	3
第2 事業の状況 .....	4
1 生産、受注及び販売の状況 .....	4
2 事業等のリスク .....	6
3 経営上の重要な契約等 .....	6
4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 .....	6
第3 設備の状況 .....	8
第4 提出会社の状況 .....	9
1 株式等の状況 .....	9
(1) 株式の総数等 .....	9
(2) 新株予約権等の状況 .....	9
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 .....	9
(4) ライツプランの内容 .....	9
(5) 発行済株式総数、資本金等の推移 .....	9
(6) 大株主の状況 .....	10
(7) 議決権の状況 .....	10
2 株価の推移 .....	11
3 役員の状況 .....	11
第5 経理の状況 .....	12
1 四半期連結財務諸表 .....	13
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	13
(2) 四半期連結損益計算書 .....	15
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	17
2 その他 .....	26
第二部 提出会社の保証会社等の情報 .....	27

[四半期レビュー報告書]

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成22年11月10日
【四半期会計期間】	第47期第2四半期（自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日）
【会社名】	株式会社あじかん
【英訳名】	AHJIKAN CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中谷 登
【本店の所在の場所】	広島市西区商工センター七丁目3番9号
【電話番号】	(082)277-7010 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 業務推進本部長 兼 経営管理部長 樋口 研治
【最寄りの連絡場所】	広島市西区商工センター七丁目3番9号
【電話番号】	(082)277-7011 (直通)
【事務連絡者氏名】	取締役 業務推進本部長 兼 経営管理部長 樋口 研治
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第46期 第2四半期連結 累計期間	第47期 第2四半期連結 累計期間	第46期 第2四半期連結 会計期間	第47期 第2四半期連結 会計期間	第46期
会計期間	自平成21年 4月1日 至平成21年 9月30日	自平成22年 4月1日 至平成22年 9月30日	自平成21年 7月1日 至平成21年 9月30日	自平成22年 7月1日 至平成22年 9月30日	自平成21年 4月1日 至平成22年 3月31日
売上高（千円）	16,296,913	16,440,564	8,309,894	8,472,017	33,070,883
経常利益（千円）	389,978	268,867	243,884	146,592	1,101,581
四半期（当期）純利益（千円）	200,602	76,777	136,231	44,048	563,271
純資産額（千円）	—	—	7,995,666	8,253,699	8,339,080
総資産額（千円）	—	—	15,964,326	16,083,427	16,451,881
1株当たり純資産額（円）	—	—	1,049.64	1,083.60	1,094.80
1株当たり四半期（当期）純利益 金額（円）	26.33	10.08	17.88	5.78	73.94
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—	—	—	—
自己資本比率（%）	—	—	50.1	51.3	50.7
営業活動による キャッシュ・フロー（千円）	1,406,049	144,731	—	—	2,073,757
投資活動による キャッシュ・フロー（千円）	△181,853	△277,423	—	—	△387,799
財務活動による キャッシュ・フロー（千円）	△789,525	△397,753	—	—	△789,871
現金及び現金同等物の四半期末 （期末）残高（千円）	—	—	1,887,701	1,808,510	2,344,384
従業員数（人）	—	—	701	698	706

（注）1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 3 【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4 【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成22年9月30日現在

従業員数（人）	698	[892]
---------	-----	-------

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は、[ ]内に当第2四半期連結会計期間の平均人員を外数で記載しております。

### (2) 提出会社の状況

平成22年9月30日現在

従業員数（人）	636	[482]
---------	-----	-------

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は、[ ]内に当第2四半期会計期間の平均人員を外数で記載しております。

## 第2【事業の状況】

### 1【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

当第2四半期連結会計期間のセグメントの生産実績を製品別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	前年同四半期比 (%)
生産部門		
玉子焼類 (千円)	1,995,889	95.7
味付かんぴょう・しいたけ類 (千円)	512,325	110.3
蒲鉾類 (千円)	439,359	105.4
その他 (千円)	368,094	99.9
合計 (千円)	3,315,669	99.4

- (注) 1. 金額は、販売価格で表示しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 製品仕入実績

当第2四半期連結会計期間のセグメントの仕入実績を製品別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	前年同四半期比 (%)
営業部門		
玉子焼類 (千円)	331,312	99.3
味付かんぴょう・しいたけ類 (千円)	59,236	95.6
蒲鉾類 (千円)	4,517	73.5
自社企画ブランド品 (千円)	1,553,650	102.7
その他 (千円)	113,909	106.7
合計 (千円)	2,062,625	102.0

- (注) 1. 金額は仕入価格で表示しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (3) 商品仕入実績

当第2四半期連結会計期間のセグメントの仕入実績を商品別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	前年同四半期比 (%)
営業部門		
常温食品 (千円)	495,098	97.9
冷凍・冷蔵食品 (千円)	1,676,687	112.4
その他 (千円)	4,021	100.2
合計 (千円)	2,175,807	108.7

- (注) 1. 金額は仕入価格で表示しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(4) 受注状況

当社グループは、見込生産を行っているため、該当事項はありません。

(5) 販売実績

当第2四半期連結会計期間のセグメントの販売実績を製商品別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	前年同四半期比 (%)
営業部門		
玉子焼類 (千円)	2,439,555	96.6
味付かんぴょう・しいたけ類 (千円)	589,402	102.2
蒲鉾類 (千円)	452,196	106.7
自社企画ブランド品 (千円)	1,874,933	97.7
その他 (千円)	506,167	99.8
製品計 (千円)	5,862,254	98.5
常温食品 (千円)	611,461	100.6
冷凍・冷蔵食品 (千円)	1,993,335	114.4
その他 (千円)	4,964	88.8
商品計 (千円)	2,609,762	110.7
合計 (千円)	8,472,017	102.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 当第2四半期連結会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、当該割合が10%に満たないため記載を省略しております。

## 2【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

## 3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

## 4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、内外の政策効果による景気回復感はあるものの、雇用情勢は依然として厳しく、海外景気の下振れ懸念や長引く円高・為替の変動などにより、景気が下押しされるリスクが強まっており、依然として厳しい状況で推移しております。

食品業界におきましても、緩やかなデフレ状況にあるものの、将来への不安などから消費者の節約志向は継続し、各社企業間競争による価格競争や低価格販売などを受け、当社グループの経営を取り巻く環境は、引続き厳しい状況で推移しております。

このような状況のなか、当社グループは当期より、第一に「ブランド価値の向上」、第二に「継続的な需要創造」、第三に需要創造の一環として、国内のみならず中国を中心とした海外へも販売エリアを拡大させた「グローバル化」を目指し、「自社ブランド品の拡充」「営業基盤の拡充」「社内サプライ・チェーン・マネジメントの確立」「コストダウンの推進」「あじかんブランド品質の向上」を重点施策として継続的に取り組んでおります。

その結果、当第2四半期連結会計期間の売上高は8,472百万円（前年同期比2.0%増加）、営業利益は222百万円（前年同期比33.3%減少）、経常利益は146百万円（39.9%減少）となり、四半期純利益は44百万円（前年同期比67.7%減少）となりました。

なお、セグメント別では営業部門は、ごぼうを中心とした野菜加工品類や蒲鉾類が好調に推移し、また当社関連会社や海外委託工場で生産している寿司用具材を中心とした水産加工品、弁当用具材・惣菜類などの海外調達品は比較的順調に売上を伸張させることができましたが、当社グループの主力製品である玉子焼類におきましては前年同期を下回る厳しい結果となりました。

一方、生産部門では、省エネルギー活動などの原価低減策を講じてまいりましたが、主力製品の主要原材料価格の上昇や原油価格の高騰による水道光熱費の上昇などにより、製造原価率は前年同期を上回る結果となりました。

### (2) 財政状態の分析

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ368百万円減少し16,083百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ232百万円減少し8,387百万円となりました。主な増減要因は、商品及び製品の増加97百万円、受取手形及び売掛金の増加78百万円、原材料及び貯蔵品の増加76百万円、現金及び預金の減少535百万円などです。固定資産は、設備投資による増加要因もありましたが、減価償却の進行や投資有価証券の時価評価などの減少要因もあり、前連結会計年度末に比べ136百万円減少の7,696百万円となりました。

#### (負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ283百万円減少し7,829百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ169百万円減少し6,676百万円となりました。主な増減要因は、原材料の調達増加に伴う支払手形及び買掛金の増加246百万円、賞与引当金の増加87百万円、未払法人税等の減少270百万円、短期借入金の返済による減少65百万円、リース債務の返済による減少40百万円などです。固定負債は、資産除去債務の計上などによる増加要因もありましたが、長期借入金の約定返済による減少111百万円、リース債務の返済による減少30百万円などにより、前連結会計年度末に比べ113百万円減少の1,152百万円となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末の借入金残高は、前連結会計年度末に比べ176百万円減少し2,918百万円となっております。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ85百万円減少し8,253百万円となりました。主な増減要因は、四半期純利益の計上76百万円、剰余金の配当による減少106百万円、評価・換算差額等の減少55百万円などです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.6ポイント増加し、51.3%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,808百万円となり、前四半期連結会計期間末に比べ126百万円の減少となりました。なお、当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は、31百万円（前年同期比94.2%減少）となりました。これは税金等調整前四半期純利益105百万円や、減価償却費161百万円などのプラス要因もありましたが、主に季節的な変動による売上債権の増加313百万円や賞与の支給に伴う賞与引当金の減少155百万円が主なマイナス要因となったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は、43百万円（前年同期比62.1%減少）となりました。これは主に、生産設備の増強投資、メンテナンス投資など有形固定資産の取得による支出であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は、107百万円（前年同期比47.4%減少）となりました。これは主に、借入金の返済やリース債務の支払によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、91百万円であります。

なお、当第2四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(6) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当第2四半期連結会計期間において、当社の経営成績に重要な影響を与える要因に重要な変更はありません。

### 第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末において計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更があったものは、次のとおりであります。

① 新設（拡充）

平成22年10月着工・完了を予定しておりました提出会社の長崎営業所の移転計画は、代替物件の取得が困難なことから、来期（第48期）以降へ計画を延期いたしました。

## 第4【提出会社の状況】

### 1【株式等の状況】

#### (1)【株式の総数等】

##### ①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,000,000
計	16,000,000

##### ②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成22年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成22年11月10日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	7,700,000	同左	東京証券取引所市場第二部 大阪証券取引所市場第二部	単元株式数 500株
計	7,700,000	同左	—	—

#### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

#### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成22年7月1日～ 平成22年9月30日	—	7,700,000	—	1,102,250	—	1,098,990

## (6) 【大株主の状況】

平成22年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
(株)足利興産	広島市中区白島北町3番14号	1,000	12.99
足利 政春	広島市東区	887	11.51
あじかん三栄持株会	広島市西区商工センター七丁目3番9号	655	8.50
あじかん株式持株会	広島市西区商工センター七丁目3番9号	379	4.92
(株)広島銀行	広島市中区紙屋町一丁目3番8号	363	4.71
(株)山口銀行	山口県下関市竹崎町四丁目2番36号	214	2.78
(株)三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内二丁目7番1号	192	2.50
(株)ベストローンカトー	香川県観音寺市坂本町五丁目17番17号	183	2.37
明治安田生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内二丁目1番1号	158	2.05
西川ゴム工業(株)	広島市西区三篠町二丁目2番8号	150	1.94
計	—	4,183	54.32

## (7) 【議決権の状況】

## ① 【発行済株式】

平成22年9月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式数	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 83,000	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 7,584,500	15,169	—
単元未満株式	普通株式 32,500	—	—
発行済株式総数	7,700,000	—	—
総株主の議決権	—	15,169	—

## ② 【自己株式等】

平成22年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有株 式数 (株)	他人名義所有株 式数 (株)	所有株式数の合 計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
(株)あじかん	広島市西区商工セン ター七丁目3番9号	83,000	—	83,000	1.08
計	—	83,000	—	83,000	1.08

## 2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成22年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高（円）	784	760	757	820	800	780
最低（円）	730	705	710	748	750	722

（注）最高・最低株価は、東京証券取引所（市場第二部）におけるものであります。

## 3 【役員の様況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の異動はありません。

## 第5【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第2四半期連結会計期間（平成22年7月1日から平成22年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表についてはあずさ監査法人による四半期レビューを受け、また、当第2四半期連結会計期間（平成22年7月1日から平成22年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表については有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、あずさ監査法人は、監査法人の種類の変更により、平成22年7月1日をもって有限責任 あずさ監査法人となっております。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,818,510	2,354,384
受取手形及び売掛金	3,988,240	3,910,050
商品及び製品	1,576,050	1,478,953
仕掛品	6,315	6,677
原材料及び貯蔵品	715,652	639,072
繰延税金資産	159,875	148,282
その他	150,713	111,137
貸倒引当金	△28,256	△29,009
流動資産合計	8,387,102	8,619,549
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,678,318	1,713,894
機械装置及び運搬具（純額）	929,649	943,978
土地	2,957,295	2,957,295
リース資産（純額）	27,196	22,586
その他（純額）	282,599	265,876
有形固定資産合計	※1 5,875,059	※1 5,903,630
無形固定資産		
リース資産	22,549	26,065
ソフトウェア	338,168	408,895
その他	27,023	28,271
無形固定資産合計	387,741	463,232
投資その他の資産		
投資有価証券	455,211	521,731
繰延税金資産	128,559	103,398
その他	896,056	896,613
貸倒引当金	△46,304	△56,275
投資その他の資産合計	1,433,524	1,465,468
固定資産合計	7,696,325	7,832,331
資産合計	16,083,427	16,451,881

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,667,318	2,420,536
短期借入金	2,414,800	2,480,000
未払法人税等	148,064	418,317
賞与引当金	325,000	238,000
役員賞与引当金	12,866	24,375
リース債務	136,707	177,689
その他	972,087	1,087,396
流動負債合計	6,676,842	6,846,315
固定負債		
長期借入金	503,600	615,000
退職給付引当金	182,318	205,419
役員退職慰労引当金	284,761	275,269
資産除去債務	41,899	—
リース債務	140,305	170,796
固定負債合計	1,152,885	1,266,485
負債合計	7,829,728	8,112,800
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,102,250	1,102,250
資本剰余金	1,098,990	1,098,990
利益剰余金	6,203,892	6,233,753
自己株式	△59,733	△59,658
株主資本合計	8,345,399	8,375,335
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△10,905	19,222
為替換算調整勘定	△80,794	△55,476
評価・換算差額等合計	△91,700	△36,254
純資産合計	8,253,699	8,339,080
負債純資産合計	16,083,427	16,451,881

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	16,296,913	16,440,564
売上原価	12,199,514	12,372,198
売上総利益	4,097,398	4,068,366
販売費及び一般管理費	※1 3,582,661	※1 3,666,277
営業利益	514,737	402,088
営業外収益		
受取利息	631	649
受取配当金	3,503	5,158
持分法による投資利益	12,588	10,756
その他	10,605	7,957
営業外収益合計	27,328	24,522
営業外費用		
支払利息	26,914	20,834
為替差損	24,262	26,016
通貨スワップ評価損	63,076	43,077
長期為替予約評価損	36,743	66,001
その他	1,089	1,812
営業外費用合計	152,087	157,743
経常利益	389,978	268,867
特別利益		
受取補償金	※2 33,368	—
特別利益合計	33,368	—
特別損失		
固定資産除却損	1,657	3,531
投資有価証券売却損	—	107
投資有価証券評価損	—	12,045
災害による損失	※3 37,379	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	31,937
和解金	—	※4 27,500
特別損失合計	39,037	75,122
税金等調整前四半期純利益	384,309	193,744
法人税、住民税及び事業税	216,140	135,209
法人税等調整額	△32,432	△18,241
法人税等合計	183,707	116,967
少数株主損益調整前四半期純利益	—	76,777
四半期純利益	200,602	76,777

## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	8,309,894	8,472,017
売上原価	6,158,019	6,403,105
売上総利益	2,151,875	2,068,911
販売費及び一般管理費	※1 1,818,189	※1 1,846,424
営業利益	333,685	222,487
営業外収益		
受取利息	162	193
受取配当金	32	47
持分法による投資利益	9,327	—
その他	2,975	2,179
営業外収益合計	12,497	2,421
営業外費用		
支払利息	14,025	10,395
為替差損	13,289	14,098
通貨スワップ評価損	43,189	18,204
長期為替予約評価損	30,784	35,579
持分法による投資損失	—	24
その他	1,010	13
営業外費用合計	102,299	78,316
経常利益	243,884	146,592
特別利益		
受取補償金	※2 33,368	—
特別利益合計	33,368	—
特別損失		
固定資産除却損	1,080	1,280
投資有価証券評価損	—	11,875
災害による損失	※3 37,379	—
和解金	—	※4 27,500
特別損失合計	38,460	40,655
税金等調整前四半期純利益	238,791	105,937
法人税、住民税及び事業税	59,114	649
法人税等調整額	43,446	61,238
法人税等合計	102,560	61,888
少数株主損益調整前四半期純利益	—	44,048
四半期純利益	136,231	44,048

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	384,309	193,744
減価償却費	309,309	318,752
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	31,937
賞与引当金の増減額 (△は減少)	103,000	87,000
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,986	△11,509
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7,119	9,492
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△20,905	△23,100
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	15,637	△10,724
持分法による投資損益 (△は益)	△12,588	△10,756
受取利息及び受取配当金	△4,135	△5,808
支払利息	26,914	20,834
通貨スワップ評価損益 (△は益)	63,076	43,077
有形固定資産除却損	1,657	3,531
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	12,045
売上債権の増減額 (△は増加)	△74,001	△88,596
たな卸資産の増減額 (△は増加)	190,806	△176,959
仕入債務の増減額 (△は減少)	349,357	247,795
未収入金の増減額 (△は増加)	△10,244	168
未払金の増減額 (△は減少)	45,005	△7,677
未払消費税等の増減額 (△は減少)	59,934	△79,702
その他	80,788	△12,729
小計	1,512,055	540,816
法人税等の支払額	△106,005	△396,084
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,406,049	144,731
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△43,814	△4,166
投資有価証券の売却による収入	—	3,392
投資有価証券の償還による収入	—	10,000
有形固定資産の取得による支出	△132,656	△271,282
有形固定資産の売却による収入	228	—
無形固定資産の取得による支出	—	△17,729
利息及び配当金の受取額	4,120	5,801
その他	△9,732	△3,439
投資活動によるキャッシュ・フロー	△181,853	△277,423
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△400,000	△100,000
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△165,000	△176,600
利息の支払額	△24,313	△19,119
リース債務の返済による支出	△108,949	△95,475
自己株式の取得による支出	△689	△74
配当金の支払額	△90,573	△106,484
財務活動によるキャッシュ・フロー	△789,525	△397,753
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,247	△5,427
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	441,918	△535,873
現金及び現金同等物の期首残高	1,445,783	2,344,384
現金及び現金同等物の四半期末残高	* 1,887,701	* 1,808,510

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	<p>当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)</p>
1. 会計処理基準に関する事項の変更	<p>(1) 資産除去債務に関する会計基準の適用 第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。 これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益は、それぞれ1,270千円減少し、税金等調整前四半期純利益は、33,207千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は39,973千円であります。</p> <p>(2) 持分法に関する会計基準の適用 第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。 これによる、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。</p>

【表示方法の変更】

<p>当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)</p>
<p>(四半期連結損益計算書) 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。</p>

<p>当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)</p>
<p>(四半期連結損益計算書) 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。</p>

【簡便な会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
固定資産の減価償却費の算定方法	定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)				
<p>※1. 有形固定資産の減価償却累計額</p> <p style="text-align: right;">9,174,533千円</p> <p>2. _____</p>	<p>※1. 有形固定資産の減価償却累計額</p> <p style="text-align: right;">9,002,750千円</p> <p>2. 偶発債務</p> <p style="padding-left: 20px;">連結子会社以外の会社の金融機関からの借入金に対して次のとおり債務保証を行っております。</p> <table style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">愛康食品(青島)有限公司</td> <td style="text-align: right;">68,222千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">68,222</td> </tr> </table>	愛康食品(青島)有限公司	68,222千円	合計	68,222
愛康食品(青島)有限公司	68,222千円				
合計	68,222				

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)																												
<p>※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">給料手当</td> <td style="text-align: right;">795,466千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">217,000</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">役員賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">7,454</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">71,495</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">役員退職慰労引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">7,119</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">貸倒引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">17,786</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">荷造運賃</td> <td style="text-align: right;">838,406</td> </tr> </table> <p>※2. 受取補償金</p> <p style="padding-left: 20px;">子会社である山東安吉丸有限公司において、青州市の道路拡張等のため建物等を取り壊し、市等より補償金を受領しております。受領金額より、固定資産除却損等を控除した金額を特別利益として計上しております。</p> <p>※3. 災害による損失</p> <p style="padding-left: 20px;">当社静岡工場における地震被害による建物、機械装置等の修復費用を特別損失として計上しております。</p> <p>4. _____</p>	給料手当	795,466千円	賞与引当金繰入額	217,000	役員賞与引当金繰入額	7,454	退職給付費用	71,495	役員退職慰労引当金繰入額	7,119	貸倒引当金繰入額	17,786	荷造運賃	838,406	<p>※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">給料手当</td> <td style="text-align: right;">793,449千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">201,000</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">役員賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">11,386</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">67,400</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">役員退職慰労引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">9,492</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">貸倒引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">3,030</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">荷造運賃</td> <td style="text-align: right;">863,601</td> </tr> </table> <p>2. _____</p> <p>3. _____</p> <p>※4. 和解金</p> <p style="padding-left: 20px;">和解金は、特許に関する争いについて和解合意したことに係る支払いであります。</p>	給料手当	793,449千円	賞与引当金繰入額	201,000	役員賞与引当金繰入額	11,386	退職給付費用	67,400	役員退職慰労引当金繰入額	9,492	貸倒引当金繰入額	3,030	荷造運賃	863,601
給料手当	795,466千円																												
賞与引当金繰入額	217,000																												
役員賞与引当金繰入額	7,454																												
退職給付費用	71,495																												
役員退職慰労引当金繰入額	7,119																												
貸倒引当金繰入額	17,786																												
荷造運賃	838,406																												
給料手当	793,449千円																												
賞与引当金繰入額	201,000																												
役員賞与引当金繰入額	11,386																												
退職給付費用	67,400																												
役員退職慰労引当金繰入額	9,492																												
貸倒引当金繰入額	3,030																												
荷造運賃	863,601																												

前第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)																												
<p>※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>給料手当</td><td style="text-align: right;">395,085千円</td></tr> <tr><td>賞与引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">103,335</td></tr> <tr><td>役員賞与引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">4,930</td></tr> <tr><td>退職給付費用</td><td style="text-align: right;">38,644</td></tr> <tr><td>役員退職慰労引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">3,852</td></tr> <tr><td>貸倒引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">9,623</td></tr> <tr><td>荷造運賃</td><td style="text-align: right;">431,869</td></tr> </table> <p>※2. 受取補償金 子会社である山東安吉丸有限公司において、青州市の道路拡張等のため建物等を取り壊し、市等より補償金を受領しております。受領金額より、固定資産除却損等を控除した金額を特別利益として計上しております。</p> <p>※3. 災害による損失 当社静岡工場における地震被害による建物、機械装置等の修復費用を特別損失として計上しております。</p> <p>4. _____</p>	給料手当	395,085千円	賞与引当金繰入額	103,335	役員賞与引当金繰入額	4,930	退職給付費用	38,644	役員退職慰労引当金繰入額	3,852	貸倒引当金繰入額	9,623	荷造運賃	431,869	<p>※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>給料手当</td><td style="text-align: right;">393,328千円</td></tr> <tr><td>賞与引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">61,307</td></tr> <tr><td>役員賞与引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">6,025</td></tr> <tr><td>退職給付費用</td><td style="text-align: right;">36,899</td></tr> <tr><td>役員退職慰労引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">5,673</td></tr> <tr><td>貸倒引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">3,030</td></tr> <tr><td>荷造運賃</td><td style="text-align: right;">442,903</td></tr> </table> <p>2. _____</p> <p>3. _____</p> <p>※4. 和解金 和解金は、特許に関する争いについて和解合意したことに係る支払いであります。</p>	給料手当	393,328千円	賞与引当金繰入額	61,307	役員賞与引当金繰入額	6,025	退職給付費用	36,899	役員退職慰労引当金繰入額	5,673	貸倒引当金繰入額	3,030	荷造運賃	442,903
給料手当	395,085千円																												
賞与引当金繰入額	103,335																												
役員賞与引当金繰入額	4,930																												
退職給付費用	38,644																												
役員退職慰労引当金繰入額	3,852																												
貸倒引当金繰入額	9,623																												
荷造運賃	431,869																												
給料手当	393,328千円																												
賞与引当金繰入額	61,307																												
役員賞与引当金繰入額	6,025																												
退職給付費用	36,899																												
役員退職慰労引当金繰入額	5,673																												
貸倒引当金繰入額	3,030																												
荷造運賃	442,903																												

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)												
<p>※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年9月30日現在)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>現金及び預金勘定</td><td style="text-align: right;">1,897,701千円</td></tr> <tr><td>預金期間が3ヵ月を超える定期預金</td><td style="text-align: right;">△10,000</td></tr> <tr><td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,887,701</td></tr> </table>	現金及び預金勘定	1,897,701千円	預金期間が3ヵ月を超える定期預金	△10,000	現金及び現金同等物	1,887,701	<p>※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年9月30日現在)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>現金及び預金勘定</td><td style="text-align: right;">1,818,510千円</td></tr> <tr><td>預金期間が3ヵ月を超える定期預金</td><td style="text-align: right;">△10,000</td></tr> <tr><td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,808,510</td></tr> </table>	現金及び預金勘定	1,818,510千円	預金期間が3ヵ月を超える定期預金	△10,000	現金及び現金同等物	1,808,510
現金及び預金勘定	1,897,701千円												
預金期間が3ヵ月を超える定期預金	△10,000												
現金及び現金同等物	1,887,701												
現金及び預金勘定	1,818,510千円												
預金期間が3ヵ月を超える定期預金	△10,000												
現金及び現金同等物	1,808,510												

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成22年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数  
普通株式 7,700,000株
2. 自己株式の種類及び株式数  
普通株式 83,082株
3. 新株予約権等に関する事項  
該当事項はありません。

#### 4. 配当に関する事項

##### 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	106,638	14.00	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

##### 【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）

当社企業集団は、食料品の製造及び販売を主な事業としており、一セグメントの売上高及び営業利益の金額がいずれも合計額の90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

当社企業集団は、食料品の製造及び販売を主な事業としており、一セグメントの売上高及び営業利益の金額がいずれも合計額の90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

##### 【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）

本邦の売上高の金額は、全セグメントの売上高の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

本邦の売上高の金額は、全セグメントの売上高の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

##### 【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）及び当第2四半期連結会計期間（自平成22年7月1日 至平成22年9月30日）

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、食料品の製造及び販売を事業としており、主に国内販売を中心に事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、販売を担う営業部門と製品の生産を担う生産部門のセグメントから構成されており、「営業部門」及び「生産部門」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	営業部門	生産部門			
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	16,440,722	—	16,440,722	△158	16,440,564
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,067	4,381,505	4,382,572	△4,382,572	—
計	16,441,789	4,381,505	20,823,294	△4,382,730	16,440,564
セグメント利益	1,174,051	174,632	1,348,683	△946,595	402,088

(注) 1. セグメント利益の調整額△946,595千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△949,841千円及びたな卸資産の調整額9,359千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結会計期間（自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	営業部門	生産部門			
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	8,473,952	—	8,473,952	△1,935	8,472,017
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	637	2,269,610	2,270,247	△2,270,247	—
計	8,474,589	2,269,610	10,744,199	△2,272,182	8,472,017
セグメント利益	615,200	67,312	682,512	△460,025	222,487

(注) 1. セグメント利益の調整額△460,025千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△460,656千円及びたな卸資産の調整額9,702千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
当第2四半期連結会計期間（自平成22年7月1日 至平成22年9月30日）  
（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
1株当たり純資産額 1,083.60円	1株当たり純資産額 1,094.80円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	8,253,699	8,339,080
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期末(期末)の純資産額 (千円)	8,253,699	8,339,080
1株当たり純資産額の算定に用いられた四半期 末(期末)の普通株式の数(株)	7,616,918	7,617,018

2. 1株当たり四半期純利益金額等

前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 26.33円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額につ いては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 10.08円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額につ いては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
四半期純利益(千円)	200,602	76,777
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	200,602	76,777
期中平均株式数(株)	7,617,781	7,616,945

前第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 17.88円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 5.78円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
四半期純利益(千円)	136,231	44,048
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	136,231	44,048
期中平均株式数(株)	7,617,566	7,616,918

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年11月10日

株式会社あじかん

取締役会 御中

あずさ監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 佐上 芳春 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 谷 宏子 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 千々松 英樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社あじかんの平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的な手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社あじかん及び連結子会社の平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年11月10日

株式会社あじかん

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小松原 浩平 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 千々松 英樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社あじかんの平成22年4月1日から平成23年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成22年7月1日から平成22年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社あじかん及び連結子会社の平成22年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。

## 【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成22年11月10日
【会社名】	株式会社あじかん
【英訳名】	AHJIKAN CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中谷 登
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	広島市西区商工センター七丁目3番9号
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長中谷登は、当社の第47期第2四半期（自平成22年7月1日 至平成22年9月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。